

たかしん WAVE

Vol.204

目次

- 第204回景気動向調査
2026年4－6月期
- 特別調査
「中小企業における価格転嫁について」
- シリーズ「上野三碑かるた・お」
- 店舗紹介（飯塚支店）



高崎信用金庫

全業種総合

回答417企業（回答率93.3%）

今期の業況
(2026年4-6月期)

業況は6業種中3業種で低下

全業種合計の業況判断指数(DI)は、前回調査(2026年1-3月期)の△14から4ポイント低下の△18となり、6業種中3業種で低下となった。

業種別DI値は、製造業は△20(前期比2ポイント上昇)、卸売業は△14(同比10ポイント上昇)、小売業は△15(同比5ポイント上昇)、建設業は△23

(同比18ポイント低下)、サービス業は△16(同比6ポイント低下)、不動産業は△12(同比28ポイント低下)となり、建設業、サービス業、不動産業の3業種で低下し、最も低下幅が大きかったのは不動産業であった。

来期の業況
(2026年7-9月期)

来期はほぼ横ばいを予想

来期の全業種合計の予想業況判断指数(DI)は、今期に比べ1ポイント低下の△19となり、ほぼ横ばいを予想している。

業種別では、製造業、建設業、不動産業の3業種で上昇、卸売業、小売業、サービス業の3業種で低下の見通し。

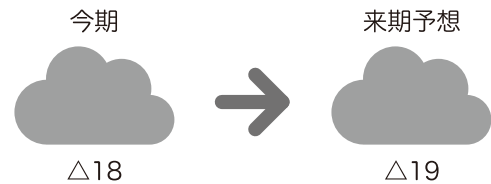
高崎地区の景況天気図

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	今期 2026年 4-6月期	来期予想 2026年 7-9月期
全業種	 △15	 △21	 △9	 △14	 △18	 △19
製造業	 △31	 △36	 △16	 △22	 △20	 △18
卸売業	 △31	 △14	 △5	 △24	 △14	 △23
小売業	 △10	 △23	 △17	 △20	 △15	 △23
建設業	 △11	 △13	 △5	 △5	 △23	 △20
サービス業	 △7	 △25	 △5	 △10	 △16	 △20
不動産業	 +13	 +10	 +17	 +16	 △12	 △3

←好調



低調→



項目別にみると、売上額DIは△10、前期比2ポイント上昇、収益DIは△16、前期比2ポイント低下した。

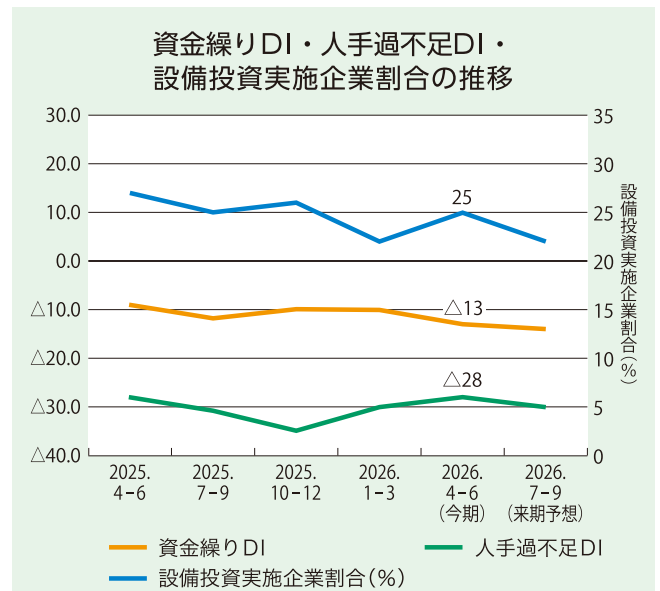
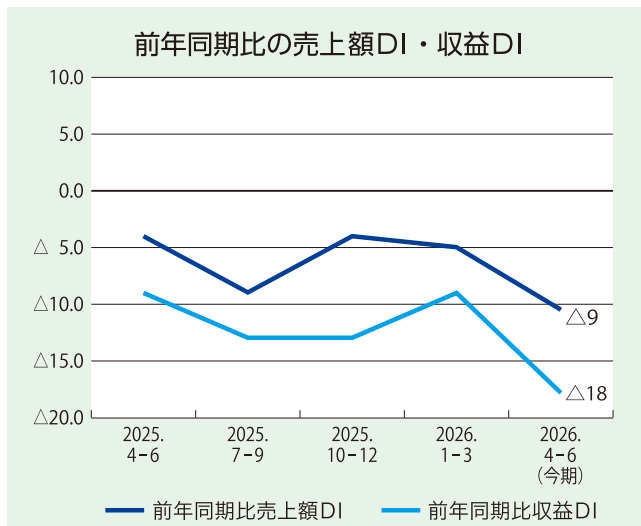
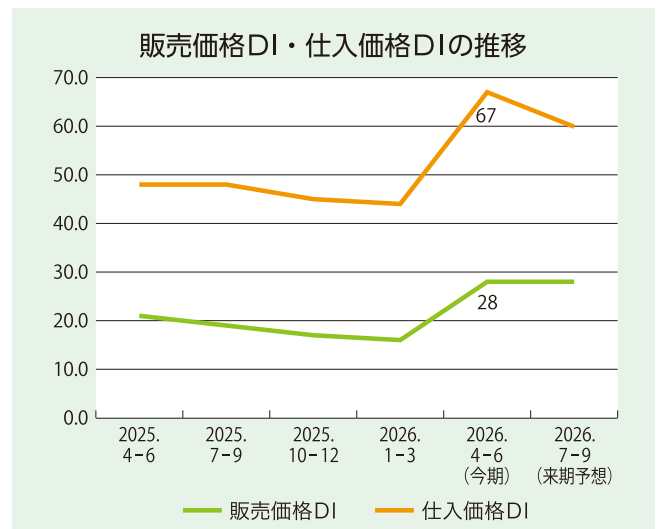
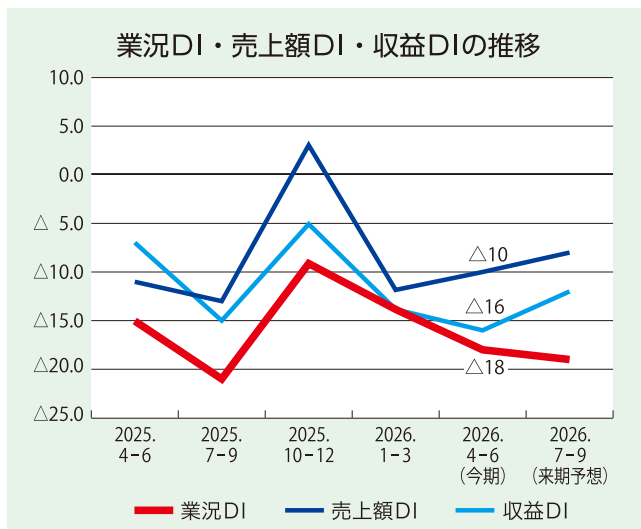
販売価格DIは+28、前期比12ポイント上昇、仕入価格DIは+67、前期比23ポイント上昇した。

前年同期比売上額DIは△9、前期比4ポイントの低下、同収益DIは△18、前期比9ポイント低下した。

雇用面では、人手過不足DIが△28（マイナス幅が大きいと人手不足感が強い、前期は△30）で人手不足感が続いている。

資金繰り面では、資金繰りDIは△13で、前期比3ポイントの悪化。

設備の状況は、設備投資実施企業割合は25%、前期比3ポイント上昇した。



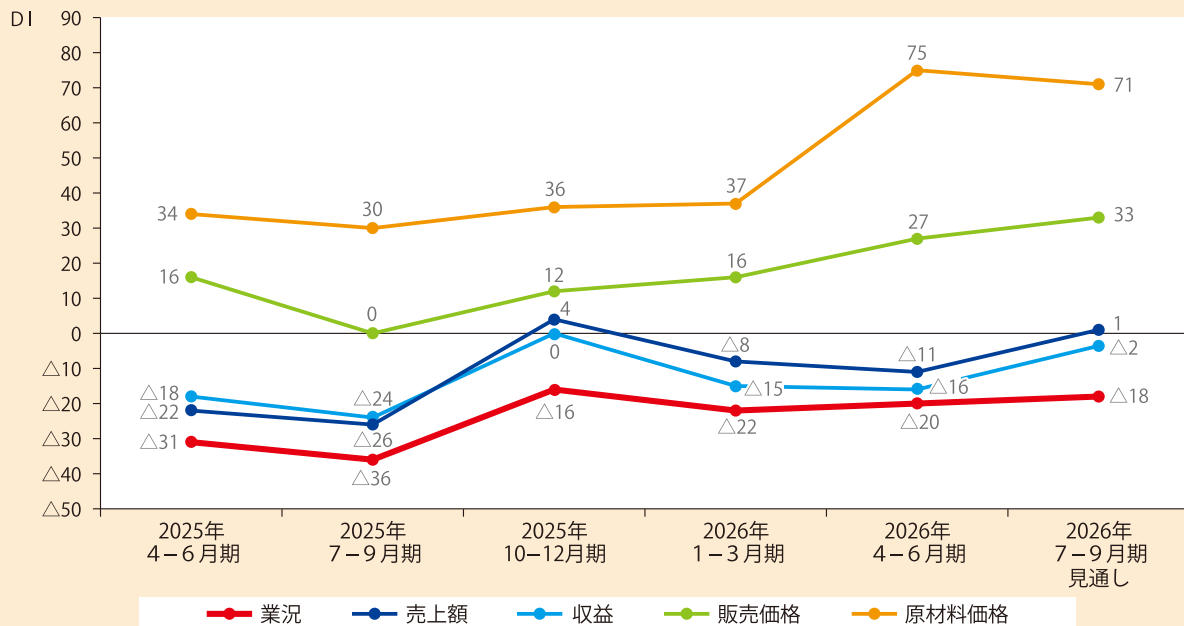
第204回景気動向調査 調査概要

1. 調査時期：2026年4～6月
2. 調査地域：高崎市
3. 調査方法：アンケート用紙に基づく面談調査
4. 分析方法：各質問事項で「増加・上昇」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少・下落」したとする企業の構成比との差（判断DI）を中心に分析を行いました。
5. 対象企業：447社（有効回答数417社・回答率93.3%）



製造業

107企業



今期の業況 (2026年4-6月期)

製造業の業況DIは△20、前期比2ポイント上昇し、ほぼ横ばい。

売上額DIは△11、前期比3ポイント低下、収益DIは△16、同比1ポイント低下し、いずれも2期連続で低下した。

原材料価格DIは+75、同比38ポイント上昇と、大幅に上昇し3期連続で上昇した。

人手過不足DIは△19となり、人手不足感はほぼ横ばいとなっている。

設備投資実施企業割合は26%となり、前期比5ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年7-9月期)

来期の予想業況判断DIは△18と、今期実績比2ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期	2026年 7-9月期 (見通し)
業 況	△22	△20	△18
売 上 額	△ 8	△11	1
収 益	△15	△16	△ 2
販売価格	16	27	33
原材料価格	37	75	71
人手過不足	△21	△19	△25
資金繰り	△16	△16	△13
設備投資実施 企業割合(%)	21	26	28

経営上の問題点

(複数回答)

・ 原材料高	43%
・ 売上の停滞・減少	40%
・ 人手不足	24%

当面の重点経営施策

(複数回答)

・ 販路を広げる	54%
・ 経費を節減する	41%
・ 人材を確保する	30%

調査員の コメント

- 最近、防衛関連の受注が増えており、売上増加を見込んでいる。
- 中東情勢の影響で、原材料の入荷が滞り始めており、今後の推移を不安視している。
- 昨年行ったベースアップ分の価格転嫁が、まだできていない。



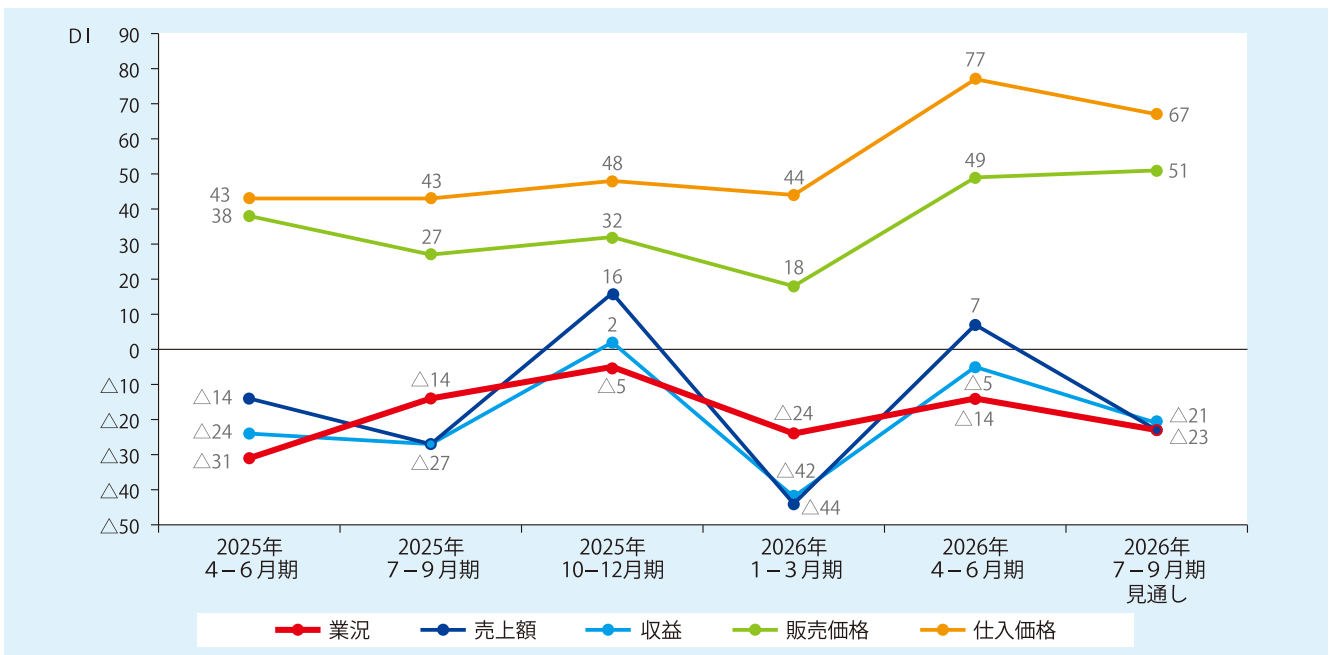
卸売業

43企業

今期
△14



来期予想
△23



今期の業況 (2026年4-6月期)

卸売業の業況判断DIは△14、前期比10ポイント上昇し、やや上昇した。

売上額DIは+7、同比51ポイント上昇、収益DIは△5、同比37ポイント上昇した。

仕入価格DIは+77、前期比33ポイント上昇した。

人手過不足DIは△28となり、人手不足感はわずかに弱まった。

設備投資実施企業割合は26%となり、前期比7ポイント低下した。

来期の業況 (2026年7-9月期)

来期の予想業況判断DIは△23と、今期実績比9ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期	2026年 7-9月期 (見通し)
業 況	△24	△14	△23
売 上 額	△44	7	△23
収 益	△42	△ 5	△21
販売価格	18	49	51
仕入価格	44	77	67
人手過不足	△33	△28	△23
資金繰り	7	△ 7	△12
設備投資実施 企業割合(%)	33	26	28

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 仕入先からの値上げ要請 53%
- ・ 売上の停滞・減少 41%
- ・ 人手不足 25%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 販路を広げる 53%
- ・ 情報力を強化する 46%
- ・ 経費を節減する 30%

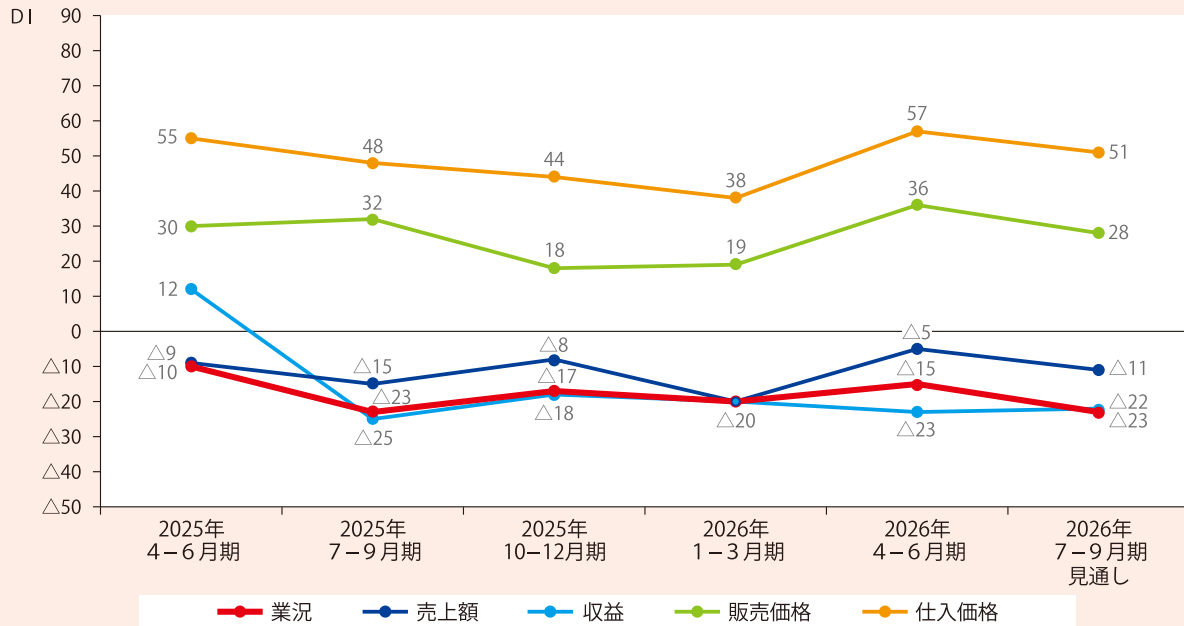
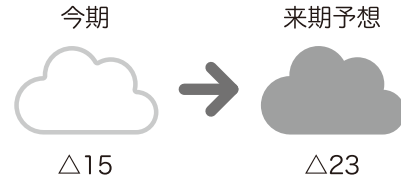
調査員の コメント

- 価格転嫁はある程度できており、販路拡大が課題。
- 中東情勢の影響により、梱包資材である発砲スチロールの価格が高騰している。
- 仕入先から毎月のように、値上げや取引制限の話が出ている。



小売業

81企業



今期の業況 (2026年4-6月期)

小売業の業況DIは△15、前期比5ポイント上昇し、わずかに上昇した。

売上額DIは△5、同比15ポイント上昇、収益DIは△23、同比3ポイント低下し、2期連続で低下した。

仕入価格DIは+57、同比19ポイント上昇し、5期ぶりに上昇した。

人手過不足DIは△31となり、人手不足感はやや強まった。

設備投資実施企業割合は20%となり、前期比6ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年7-9月期)

来期の予想業況DIは△23と、今期実績比8ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期	2026年 7-9月期 (見通し)
業況	△20	△15	△23
売上額	△20	△5	△11
収益	△20	△23	△22
販売価格	19	36	28
仕入価格	38	57	51
人手過不足	△23	△31	△26
資金繰り	△20	△15	△16
設備投資実施 企業割合(%)	14	20	21

経営上の問題点

(複数回答)

・売上の停滞・減少	44%
・仕入先からの値上げ要請	25%
・利幅の縮小	22%

当面の重点経営施策

(複数回答)

・経費を節減する	50%
・品揃えを改善する	30%
・売れ筋商品を取扱う	27%

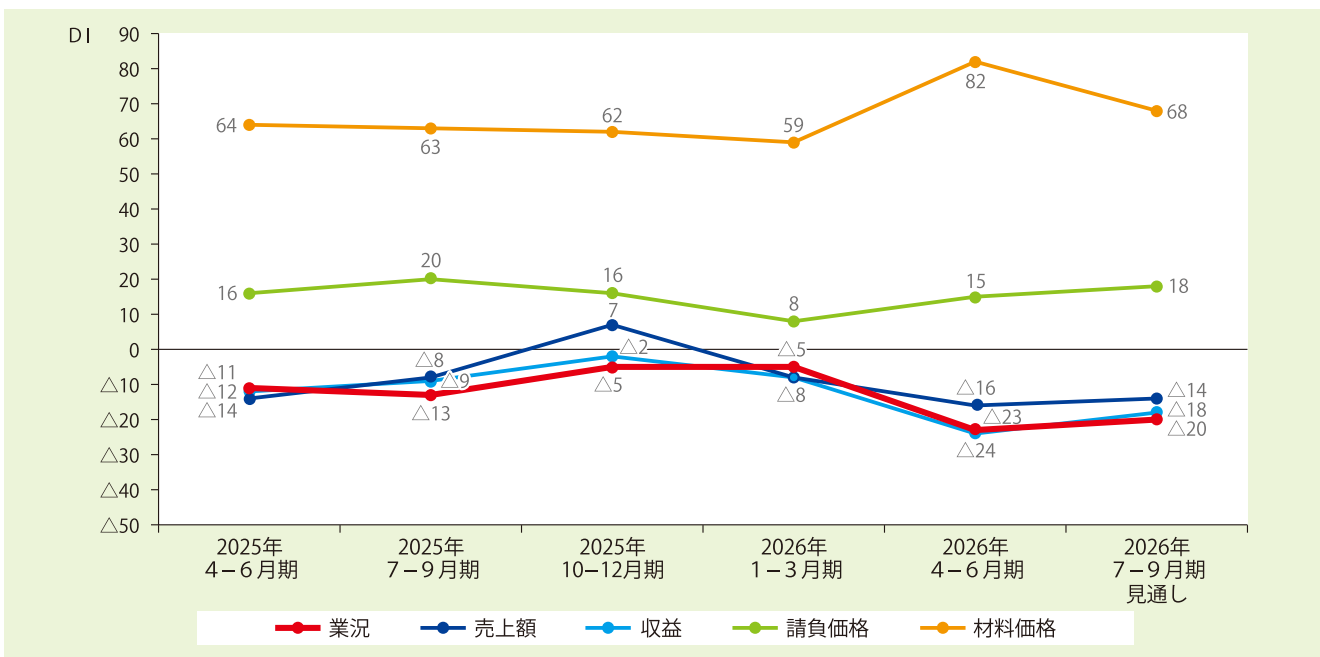
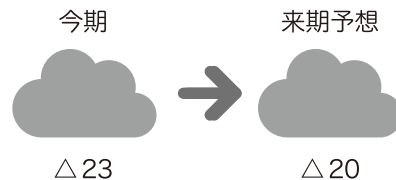
調査員の コメント

- 価格転嫁にあたり、頻繁な値上げはできないためタイミングを計っている。
- 中東情勢の影響で原材料価格が高騰し、価格転嫁が追いついていない状況。
- 固定客を逃したくないため、価格転嫁へ踏み切れないでいる。



建設業

92企業



今期の業況 (2026年4-6月期)

建設業の業況DIは△23、前期比18ポイント低下し、小幅に低下した。

売上額DIは△16、同比8ポイント低下、収益DIは△24、同比16ポイント低下し、いずれも2期連続で低下した。

材料価格DIは+82、同比23ポイント上昇し、4期ぶりに上昇した。

人手過不足DIは△41となり、人手不足感がわずかに弱まった。

設備投資実施企業割合は27%となり、前期比4ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年7-9月期)

来期の予想業況DIは△20と、今期実績比3ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期	2026年 7-9月期 (見通し)
業 況	△ 5	△23	△20
売 上 額	△ 8	△16	△14
収 益	△ 8	△24	△18
請負価格	8	15	18
材料価格	59	82	68
人手過不足	△48	△41	△48
資金繰り	△ 2	△ 8	△12
設備投資実施 企業割合(%)	23	27	16

経営上の問題点

(複数回答)

- ・材料価格の上昇 78%
- ・人手不足 44%
- ・売上の停滞・減少 34%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・経費を節減する 50%
- ・人材を確保する 43%
- ・販路を広げる 38%

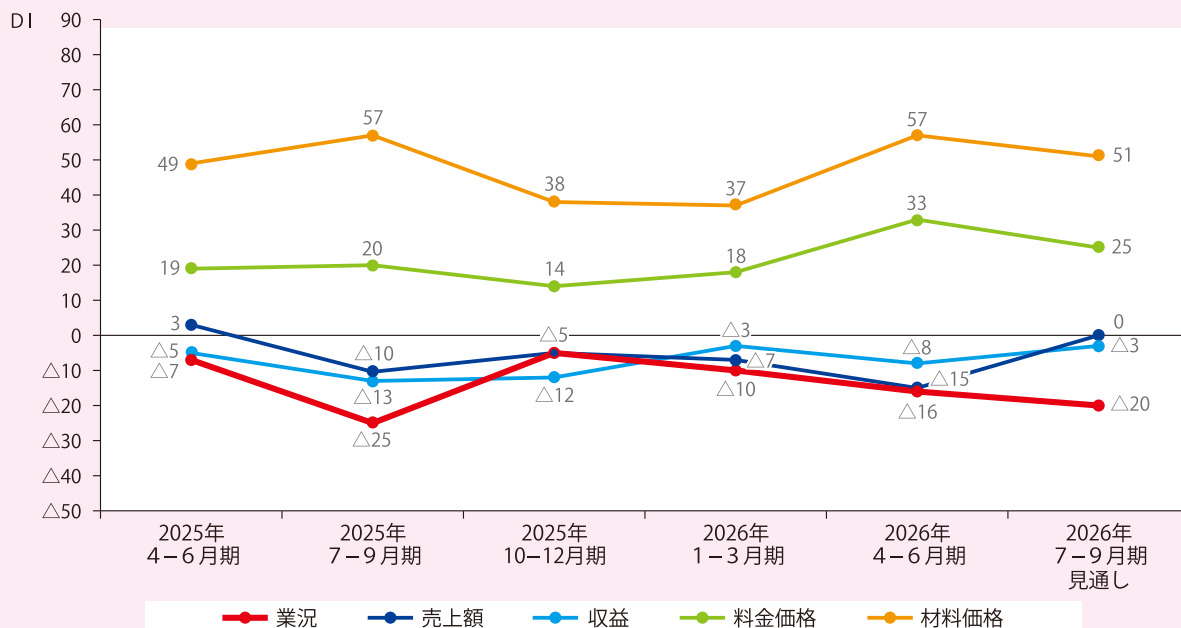
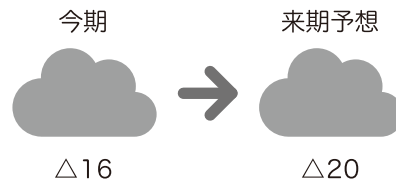
調査員の コメント

- 材料価格が上昇しているが、取引先との協議で、ある程度価格転嫁ができています。
- 中東情勢の影響により、プラスチック製品の入荷が遅れており、在庫に不安がある。
- 深刻な材料不足の状況に見舞われており、先行きの見通しも立たず不安。



サービス業

61企業



今期の業況 (2026年4-6月期)

サービス業の業況DIは△16、前期比6ポイント低下し、2期連続で低下した。

売上額DIは△15、同比8ポイント低下、収益DIは△8、同比5ポイント低下した。

材料価格DIは+57、前期比20ポイント上昇し、3期ぶりに上昇した。

人手過不足DIは△28となり、人手不足感はやや弱まった。

設備投資実施企業割合は25%となり、前期と変わらず。

来期の業況 (2026年7-9月期)

来期の予想業況DIは△20と、今期実績比4ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期	2026年 7-9月期 (見通し)
業 況	△10	△16	△20
売 上 額	△ 7	△15	0
収 益	△ 3	△ 8	△ 3
料金価格	18	33	25
材料価格	37	57	51
人手過不足	△37	△28	△28
資金繰り	△13	△25	△25
設備投資実施 企業割合(%)	25	25	18

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 材料価格の上昇 47%
- ・ 売上の停滞・減少 36%
- ・ 人手不足 34%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 経費を節減する 47%
- ・ 販路を広げる 37%
- ・ 人材を確保する 27%

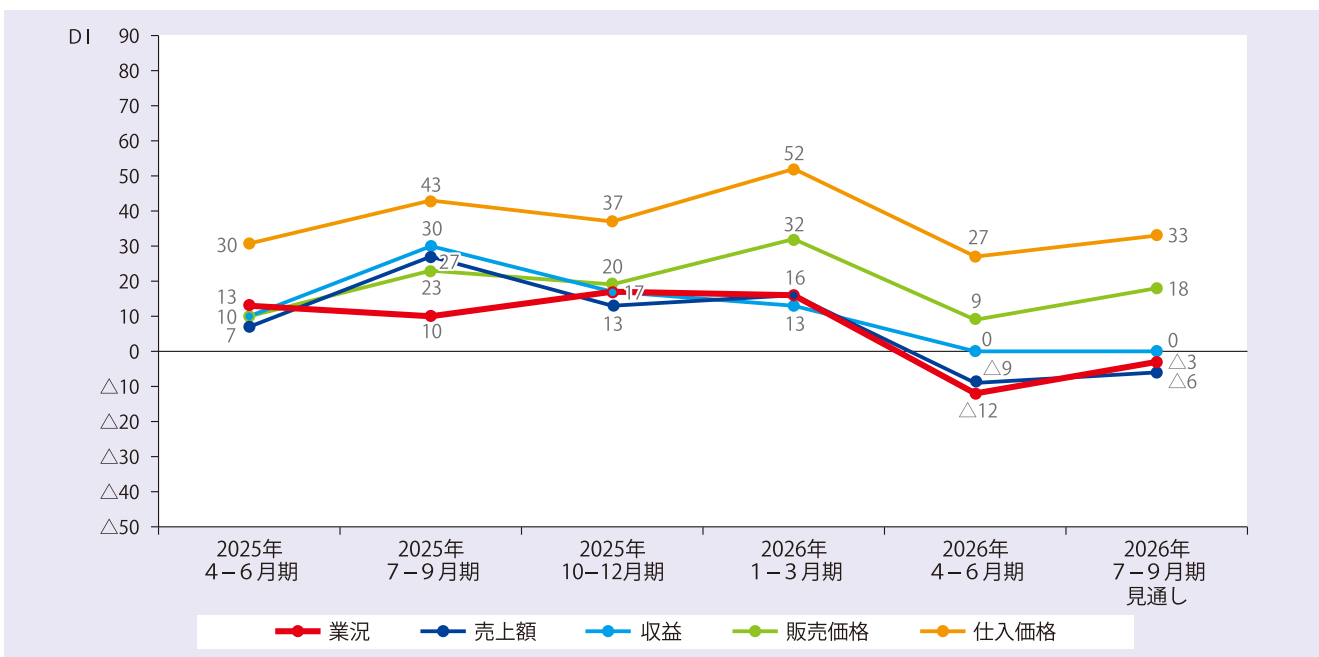
調査員の コメント

- 受注は確保しているが、人材確保と教育が課題。
- 塗料、オイルの仕入に中東情勢の影響が出ており、長期化すると経営が不安である。
- 物価高騰により顧客の利用が減少しており、SNSの発信強化を図っている。



不動産業

33企業



今期の業況 (2026年4-6月期)

不動産業の業況DIは△12、前期比28ポイント低下し、2期連続で低下した。

売上額DIは△9、同比25ポイント低下、収益DIは±0、同比13ポイント低下し、3期連続で低下した。

仕入価格DIは+27、同比25ポイント低下した。

人手過不足DIは△18となり、人手不足感はわずかに強まった。

来期の業況 (2026年7-9月期)

来期の予想業況DIは△3と、今期実績比9ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期	2026年 7-9月期 (見通し)
業 況	16	△12	△ 3
売 上 額	16	△ 9	△ 6
収 益	13	0	0
販売価格	32	9	18
仕入価格	52	27	33
人手過不足	△13	△18	△15
資金繰り	0	3	3

経営上の問題点

(複数回答)

- 商品物件の不足 39%
- 同業者間の競争の激化 36%
- 商品物件の高騰 24%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- 情報力を強化する 66%
- 経費を節減する 36%
- 宣伝・広告を強化する 33%

調査員の コメント

- 金利上昇により在庫リスクが高まっていることから商品仕入には慎重になっている。
- 売上原価は販売価格に転嫁しているが、タイミングが難しい。
- 相続を契機として、不動産を手放したいという相談が多い。

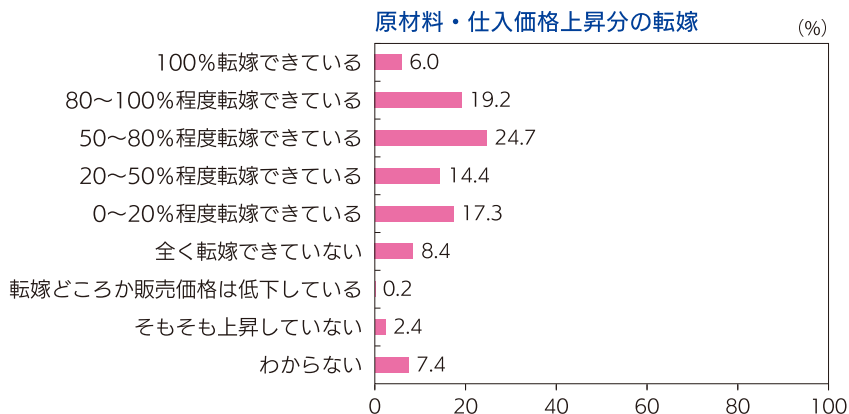
中小企業における価格転嫁について

= 景況レポート No.204 特別調査結果 = (令和8年4月～6月期)

今回は、中小企業における価格転嫁について、当金庫のお客さま417企業に特別調査を実施いたしました。

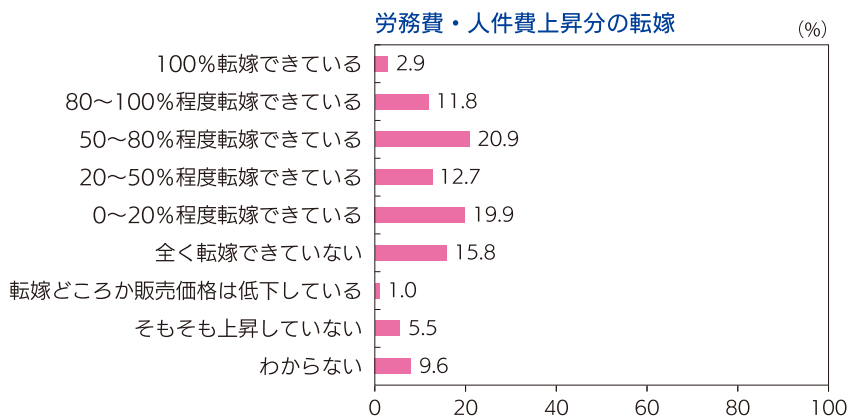
問1

近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年(2020年ごろから)の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。1つ選んでお答えください。



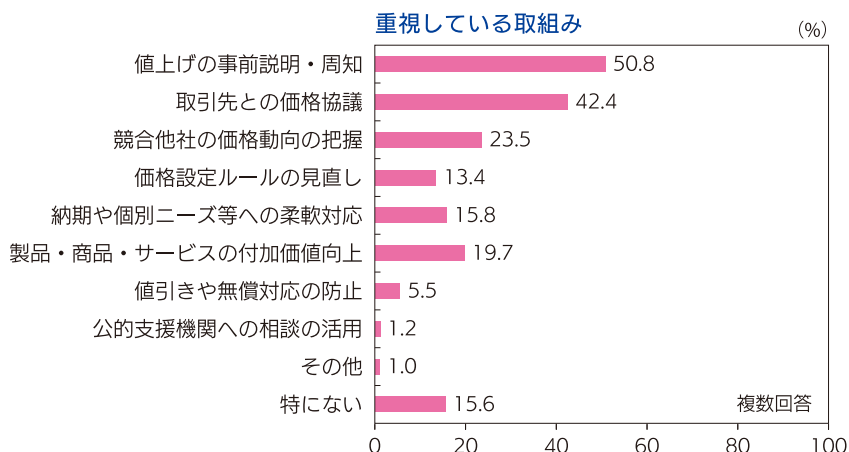
問2

貴社では、ここ数年(2020年ごろから)の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。1つ選んでお答えください。



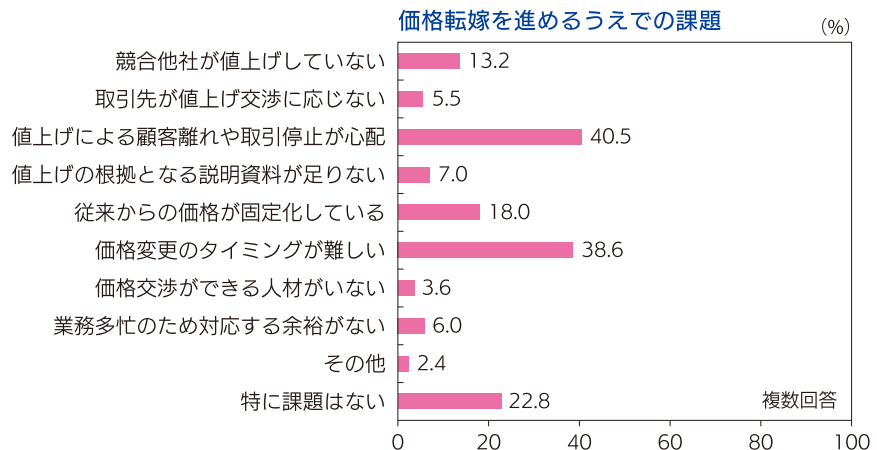
問3

貴社が取引先(販売先)との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。3つ以内で選んでお答えください。



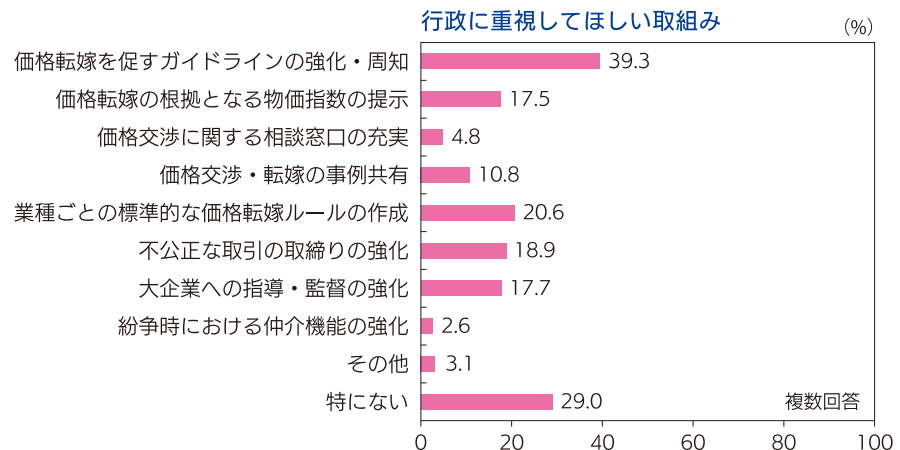
問4

貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。3つ以内で選んでお答えください。



問5

今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるうえで、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。3つ以内で選んでお答えください。



こう ずけ さん び 上野三碑かるた 読み札を紹介します ⑤

高崎信用金庫は、ユネスコ「世界の記憶」に登録された文化遺産、上野三碑の普及推進活動に取り組んでいます。



上野三碑かるたは、地域の貴重な文化遺産である上野三碑と、その所在する地域や関連する文化財にかかわるもの等を読み札にしたかるたです。読み札とともに、地域の貴重な文化遺産をご紹介します。



高崎市には中世の城跡が多く残り、箕郷町にある史跡箕輪城跡は、群馬県を代表する城跡です。山上碑・金井沢碑のある岩野谷丘陵にも山名城、根小屋城の城跡があり、ハイキングコース「石碑の路」を歩くと空堀などの遺構を観察できます。

◆ 店舗紹介 ◆

飯塚支店

住所 〒370-0069 高崎市飯塚町198-2
TEL 027-362-4110

飯塚支店は1944(昭和19)年12月に開設された店舗で、現在の店舗は、県道高崎渋川線沿い、ＪＲ信越本線北高崎駅より北へ400メートルの位置にあります。

営業エリアには高崎経済大学があり、住宅地区、商工業地区が併存し、大型スーパーや、外食産業・生活用品等のチェーン店が集積しています。買い物など、日常生活において利便性の高い地域です。



たかしん飯塚支店を紹介します！

飯塚支店長 高田 康德

飯塚支店は、「明るく・元気に」をモットーに業務に取り組んでいます。

職員は、支店長、次長と、営業担当3名、預金・融資担当8名の計13名で、若手からベテランまでバランスよく構成されています。

当店の歴史は古く、お客さまの後援団体であります「信栄会」においては、61周年を迎えました。毎年、旅行、ボーリング大会、ゴルフコンペ等の行事を通して会員同士の親睦を図っています。特に旅行では、食通のお客さまが多いことから、旅先の豪華な名物料理を楽しむ内容で企画し、大変好評をいただいています。

職員の和を大切に、「地域に寄り添い、地域で最も信頼される金融機関」を目指し、地域になくてはならない信金となれるよう活動してまいります。

生活の中のちょっとした困りごと等があれば、何なりとお気軽にご相談ください。地域No.1の「挨拶・笑顔」でお迎え・訪問いたします！



飯塚支店の職員

たかしん公式 Instagram はじめました

高崎信用金庫は、Instagramの公式アカウントを開設しました。
当金庫の取組みや地域情報、お客さま情報などを発信しています。
ぜひ、フォロー、いいね！をよろしくお願いします！



@TAKASAKI_SHINKIN_GUNMA

本レポートは、情報提供のみを目的として作成したものです。掲載資料は当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その正確性や安全性を保証するものではありません。投資等に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。

当金庫ホームページでも、たかしん景況レポートをご覧ください。

また、本調査への皆さまのご意見、ご希望がありましたら、お気軽にお寄せください。

高崎信用金庫 経営管理部 TEL 027-360-3422 (直通)

